

JA全農 **WEEKLY**

2面

令和4年 年頭のごあいさつ

JA全農 経営管理委員会 会長 菅野 幸雄

3-6面

新春会長対談

変化は成長へのチャンス

与えられた役割で一步一步努力し未来を切り開く

ゲスト：全農所属・卓球日本代表

石川 佳純さん

7面

石川選手×全農ヒストリー

8面

JAタウン 新春初夢プレゼント

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>



『JA全農ウィークリー』の
ツイッターはこちらから



謹賀新年



全農

持続可能な農業と食の提供のために 『なくてはならない全農』であり続ける

経営管理委員会会長

菅野 幸雄



あけましておめでとーございます。
謹んで新春のごあいさつを申しあげます。

令和4年の年頭にあたり、全国の組合員、JA、県連および関係の皆さまから旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対し、厚くお礼を申しあげます。

昨年も豪雨や凍霜害などの自然災害に加え、豚熱や鳥インフルエンザ

などの重要家畜疾病に全国各地で見舞われ、多大な被害が発生いたしました。被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い被災地の復旧をお祈り申し上げます。

そして、長期化する新型コロナウイルス感染症は、私たちの暮らしの在り方を変え、社会・経済、農業分野にも甚大な影響を与えています。

本会は、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋となり、生産者の皆さまが安心して営農を継続できるよう引き続き尽力いたしますとともに、本年こそコロナ禍が終息し、穏やかな日常や活発な経済活動を取り戻せることを切に願っております。

また昨年は、57年ぶりに東京でオリリンピック・パラリンピックが開催され、勇気と感動を日本中に届けて

くれました。本会は、アスリートの活躍を「ニッポンの食」で支えるとともに、広報活動を通じて、未来を担う子どもたちも含む多くの方々に、日本の農業やJAグループへの理解を深めていただけるよう努めてまいります。

さて、本年は新たな「中期3か年計画」(2022～24年度)がスタートする年です。3月30日に創立50周年を迎える本会にとりまして、次期中期計画は次の時代に向けた、新たな第一歩となります。

新型コロナウイルス感染症による行動変容、国内人口の減少と高齢化、世界人口の増加やさらなるグローバル化、デジタル化、脱炭素化など、事業を取り巻く環境は大きく変化しています。そのため、中長期的な視点に立ち、2030年の全農グループの

目指す姿を「持続可能な農業と食の提供のために」なくてはならない全農であり続ける」と決めました。

その実現に向け、①生産振興、②食農バリエーションの構築、③海外事業展開、④地域共生・地域活性化、⑤環境問題など社会的課題への対応、⑥JAグループ・全農グループの最適な事業体制の構築、という六つの全体戦略を設定し、事業の拡大に取り組んでまいります。

本会グループ役員全員が主体性を持って挑戦し、戦略を一つ一つ実行していくことが、「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」へつながっていくと確信しております。

本年も引き続きご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とますますのご発展をお祈り申し上げます。

新春対談

変化は成長へのチャンス 与えられた役割で 一步一步努力し未来を 切り開く

全農経営管理委員会

菅野 幸雄 会長

全農所属・卓球日本代表

石川 佳純 さん





菅野幸雄会長 あけましておめでとーございます。

石川佳純さん あけましておめでとーございます。会長は就任されて2年と聞きました。昨年はどのような1年でしたか。

菅野会長 昨年も大雪や大雨、凍霜害などの自然災害により多くの農業被害が発生し、農産物の生育にも影響がありました。

また、コロナ禍で店舗が休業したり、消費が不安定になった

りと、農家の皆さんは非常に心配されたのではないかと思います。JAの活動も制約され、人と人が会えず訪問しづらい状況が続きましたが、全農、JAグループでは農家の皆さんに安心して営農を継続していただけるよう懸命に取り組んできた1年でした。そんな中で消費者の皆さまに日本の農産物を買って

いただき、非常に助かりました。全農は、今まで農家とJAゲ

ループの総力で、日本農業を発展させるという考えでした。しかし、現在は一般企業との提携にも積極的に取り組んでいます。グループの枠組みを超えてオー

ルジャパン、チームジャパンで営農振興、農産物の消費拡大、ひいては自給率を高めることに貢献していきたいと思っています。

ところで、東京五輪。石川さんも卓球日本代表として出場し、女子団体では見事銀メダル

を獲得されました。おめでとうございます。国民の皆さんも私たち農業関係者も非常に元氣が出ました。コロナに振り回された1年でしたが、そんな中で明るいニュースとして、励みになりました。

石川さん ありがとうございます。私は東京五輪という舞台でプレーできて、卓球選手としての幸せを改めて感じました。コロナ禍で、卓球ができること自体がいつも以上にありがたいことだと感謝しています。

(昨年1月に開催された)全日本選手権でも5年ぶりに優勝できました。全農さんには本当にお世話になっているので、皇后杯を持って帰ることができて、すごくうれしかったです。

菅野会長 五輪では日本選手団の副主将や選手宣誓など、大役を担いました。プレッシャーもあったのではないですか。

石川さん すごく緊張しましたし、身が引き締まる思いでした。**菅野会長** 昨年はJAタウンの公式アンバサダーにも就任されました。

石川さん 毎月、JAタウンから全国のおいしいものが届き、

自分なりに料理して、いただいています。日本の食べ物のおいしさを改めて感じています。JAタウンで発売している「石川佳純(かすみん)カレー」は、お土産に持っていくと、いつも喜んでもらい、話も盛り上がります。商品開発時には私のいろいろなわがままを聞いてもらい、すごく好きな味になりました。

石川選手サポート10年 子どもから力もらっ

菅野会長 全農が所属選手として石川選手を応援するようになって10年です。印象に残った活動や、思い出がありますか。

石川さん たくさんあります。ロンドン五輪に初出場してメダルを持って帰ってきたときには、JAグループの関係者の皆さんにたくさん温かい応援をもらいました。その後もリオ、東京と同じくらいの応援をもらいました。いいときばかりではなく、なかなか結果が出ないときや五輪選考レースなどすごく苦しい時期もありました。でも、いつも温かく見守られ、支えてもらいました。本当に感謝の気

持ちでいっぱいです。

10年ほど前から数回実施している全農主催の卓球教室では、全国の子どもたちと一緒に卓球ができたことがすごくうれしくて楽しかったです。実は普段は子どもたちと卓球をする機会はありません。子どもたちは最初、緊張していますが、1時間ぐらい経つと、私の試合を見てくれたことなど、たくさん話してくれます。子どもたちから私の方がパワーをもらうことが多いです。また、ぜひ参加したいです。

菅野会長 五輪に出てメダルを獲得した選手が目の前で語り掛けてくれたり、プレーを見せてくれたりすることは子どもたちの夢ですね。そういう機会が広がることに将来、卓球をやりたいと思う子どもたちが増えると思います。そういった夢をこれから応援します。

石川さん また、この10年で食への意識が大きく変わりました。けがや病気になるないためにバランス良く、体に良いものをたくさん食べて体をつくることを真剣に意識するようになり

ました。海外遠征時

にも、食事をサポートしてもらい、本当に心強く、日本のおいしいものが食べられるのは、気持ちにも体にも、本当にありがたいです。

菅野会長 海外遠征中におむすび、みそ汁、梅干しを食べると、お母さんの味を思い出して安心しますよね。お米を食べるとパワーも出ます。試合の直前



いしかわ・かすみ 1993年、山口県生まれ。卓球選手だった両親の影響で卓球を始め、ジュニア時代から輝かしい成績を残す。2011年に17歳にして全日本卓球選手権大会で優勝する快挙を成し遂げ、12年ロンドンオリンピックでは、男女を通じて史上初のシングルス4強入り。団体でも史上初の銀メダルに輝いた。16年のリオデジャネイロオリンピックでも、団体に銅メダルを獲得。21年の東京オリンピックでは、卓球女子日本代表のエースとして3大会連続のメダルとなる団体銀メダルを獲得した。

は日本食が多いですか。

石川さん はい。世界にはおいしいものがたくさんありますが、やはり日本食。ご飯やおむすびを食べると、試合前にすぐほっとする気持ちになります。

菅野会長 全農は世界に拠点があります。今、世界中で日本食が食べられますが、材料が日本産の日本食は限られています。今はコロナの影響で難しい状況ですが、引き続き米や農畜産物輸出に力を入れていきます。いずれ石川さんの海外遠征先でも

日本産の食材で日本食が自分で作れる環境になります。ぜひ、期待してください。

石川さん はい。ありがとうございます。

全農50周年 これからの生産者と 消費者を結ぶ

石川さん 全農さんは今年50周年を迎えるそうですね。

菅野会長 農業、農家を取り巻く環境は常に変化しています。全購連と全販連を一本化して全

農という組織を作り上げ、時々
の課題を一つ一つ克服し現在に
至っています。全農はこれまでの
50年も生産者と消費者を結ぶ
懸け橋という役目で進んできました。これからもこのスタンス
で、農業の省力化や、新技術の
導入を支援し、地球環境に優し
い農業で作り上げた安心・安全
な農畜産物を提供します。消費
者に味としてお返しし、おつな
ぎする道は永遠に続いていくと
思います。

石川さん 新年度は新たな中期3か年計画がスタートする年になると聞きました。

菅野会長 新たな中期計画がスタートします。さまざまなことにチャレンジして食と農を取り巻く課題を克服していきます。例えば最近、安川電機と提携しました。農家はキュウリの収穫後に不要な葉を人力で取り、ものすごい手間がかかりました。100%はできなくても、ロボットが7割取れば、農家は品質確保や増産に力を入れることができます。そういう技術を施設園芸農家に横展開したいです。また別の事例ですが、パスタやうどんの原料となる小

麦は現在、ほとんどが輸入品です。そこで日清製粉と連携し、

国産小麦のシェアを上げていきます。同社や国の研究機関である農研機構とも一緒になって、

ニーズがある品種を開発して、それを農家が栽培することで、産地を育成します。

そういうチャレンジをより具体化するの、次の中期計画のステップと考えています。消費者に安全でおいしいものを安定的に提供する体制が、より高まると思います。

スポーツ支援を継続

石川さん 会長やご家族はスポーツと何か縁はありますか。

菅野会長 私は、何をやってもうまくならないですが、子どものころからいろいろやっていました。

孫は7人いますが、最初の孫は卓球をしています。バレーボールに取り組む孫や、野球を楽しんでいる孫もいます。それぞれ目の前の目標を持っているのが心強いです。

石川さん 今後スポーツをどう

サポートしていくお考えですか。

菅野会長 全農はチビリンピックや小・中学校の卓球、野球、サッカー、カーリングなどさまざまなスポーツを支援しています。これを続けていくことが大事です。将来そこから日本、あるいは世界レベルの選手が出れば、大変うれしいです。

目の前の目標に全力 納得するステップを

菅野会長 ロンドン五輪は平野

早矢香さん、福原愛さんがいて、石川さんがいました。リオは福原さん、石川さん、伊藤美誠選手（スターツ）。東京は石川さんを中心に、伊藤さんと平野美宇選手（日本生命）。今はその下の世代である小学生たちも育っていますね。石川さん自身は次のステップに向けて、どのように取り組もうと思いますか。

石川さん 日本の卓球レベルは今、すごく上がっていて、一選手としては競争が厳しくなるのはつらいです。でもその分、自分自身もレベルアップできた経験がありました。小学生ながらレベルの高い選手たちを見る

と、うれしい気持ちがいっぱい大きいです。

今は、目の前の大きな試合、目の前の目標に、全力で一つ一つ取り組んでいきたいと思っています。今年最初の大きな試合は、1月の全日本選手権になると思います。まずはここで良いスタートが切れるように頑張りたいです。

菅野会長 そう一つ一つですよ。農業もスポーツと同じです。目標は立てるけれど、行くのは、階段一步一步です。一つ一つの計画をこなし、自分で納得するステップを踏み次へ行く。役割も石川さんと同じで自分の置かれた立場で違ってくる。組合員、地域を取りまとめるJA、全国段階での全農とそれぞれ役割があります。

卓球界も若い世代が登場し、石川さんの立場も変わってくると思います。変化するということは、自分がそれだけ成長に向かっていけるということ。分野は違いますが、お互いに一生懸命、良い結果が出せるように頑張りたい。今日はありがとうございました。

石川さん 本当にいつも日本の

食から元気、パワーをいただいています。私もプレーで少しでもパワーを届けられるように頑張りたいです。JAタウン公式

アンバサダーとしても、日本の食べ物のおいしさをたくさんの方に伝えたいと思います。こちらこそありがとうございました。



石川佳純さんから お年玉プレゼント

5名様

応募方法

件名に「石川佳純さんお年玉プレゼント」、本文に郵便番号、住所、氏名、年齢、所属JA、電話番号、「JA全農ウィークリー」の感想をご記入の上、メールでご応募ください。

応募先

✉ JA全農ウィークリー
zz_zk_zennohweekly@zennoh.or.jp

締め切り

令和4年1月14日(金)23時59分

*応募者多数の場合は抽選で当選者を決定いたします。また、当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

*いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。

石川佳純さん直筆のサイン入りラケット(佳純パーシック)を5名様にプレゼントいたします。ご応募をお待ちしております。

主な戦歴

2011年 全日本選手権 女子シングルス 優勝
 2012年 ロンドンオリンピック シングルス4位、団体銀メダル
 2014年 JA全農世界卓球選手権団体戦 準優勝
 2014年 ワールドツアーファイナルズ優勝
 2015年 全日本選手権 女子シングルス、
 女子ダブルス、ミックスダブルス3冠
 2016年 リオデジャネイロオリンピック 団体銅メダル
 2017年 世界卓球選手権個人戦 ミックスダブルス優勝
 2020年 全日本選手権女子シングルス優勝
 2021年 東京オリンピック 団体銀メダル

2015年

全日本卓球優勝

女子シングルス、女子ダブルス、ミックスダブルスで3冠を達成しました。



2018・2019年

2018・2019年カレー＆牛丼

「ご飯に合うこと」「子どもたちにもおいしく食べてもらえること」という思いを込め、石川選手が監修しました。国産食材を使用することはもちろん、具材の大きさやパッケージまで石川選手のこだわりが詰まっています。



牛丼を試食する石川選手



JAタウン
石川選手
シリーズ



2021年5月～

JAタウン 公式アンバサダー就任

石川選手自らJAタウンの商品を注文し、実際に食べて楽しみながらその魅力を発信しています。就任時には「農家の皆さんが一生懸命作った全国各地のおいしいものを紹介していきたい」と決意を述べました。



2011年

全農に所属

全農と所属契約を結び、7月5日に記者会見を行いました。石川選手は当時18歳。躍動感あふれ、粘り強く打ち返すプレースタイルが全農の目指す「スポーツ＝健康＝食＝全農」のイメージ醸成にぴったりの人物でした。



椎名広報部長(当時)と握手する石川選手

2011年～

卓球教室

2011年から子どもたちを対象に開催しています。今までに全国9カ所で実施。「全国各地で卓球教室ツアーを開催したい」という石川選手の熱い想いがこもった卓球教室です。



茨城卓球教室 in 古河
2017年2月

2019年～

海外食サポート

「アスリートの活躍を『ニッポンの食』で支える。」をスローガンに、2011年から卓球日本代表選手が海外でも最高のパフォーマンスを発揮できるよう、ニッポンの食を提供しています。2019年からは全農グループの海外ネットワークを活用し、現地の日本食レストランと協力して和食を提供しています。



おむすびを手に笑顔の石川選手
(2019年ドイツオープン)

2020年

全日本卓球5年ぶり5回目優勝

優勝インタビューでは涙ながらに“周りの人への感謝”を口にしました。



写真提供：ニッタクニュース

石川選手

全農 ヒストリー

全農は2011年7月に石川佳純選手と所属契約を結び、全面的に応援しています。石川選手との10年を振り返ります。
 【広報・調査部】

新春初夢プレゼント

全国から一押しの逸品を取りそろえました。ふるってご応募ください。

新鮮大好き徳島

にんじんジュース「ザ・キャロット」

5名様

160g×20本入り…3980円

徳島県産「春にんじん」の自然な甘味と、徳島県の誇るさわやかな香りと酸味の香酸柑橘(こうさんかんきつ)類「すだち」を原料にした、自然そのもののおいしさが味わえる「にんじんジュース」です。「春にんじん」本来の「甘さ」を味わっていただくため、砂糖・甘味料は一切使っていません。

JA全農たまご

TAMAGO COCCO「焼き菓子詰め合わせギフト」

10名様

1箱15袋入り…3000円

JA全農たまごが運営するスイーツショップ「TAMAGO COCCO」の新鮮な卵と良質な原料にこだわったスイーツです。素材の良さを生かすため、手間暇かけて一つ一つ作っています。卵のおいしさが詰まったこだわりの焼き菓子をぜひ、ご家族・ご友人とご賞味ください。

JA鹿児島県経済連

鹿児島県の味「ふるさと便」

「華蓮ギフト」黒豚しゃぶしゃぶセット

3名様

6000円

鹿児島県黒豚は、品質、生産量共に日本一を誇る鹿児島県の特産品です。筋繊維が細かく、肉質の締まりに優れているため、歯切れがよく、独特の風味があり他にはないおいしさを味わえます。JA鹿児島県経済連の直営店舗「華蓮」のしゃぶしゃぶをぜひご家庭でお楽しみください。

JAわかやま(わかやま農業協同組合)

桃ほのか Wakayama GingerAle

5名様

250ml×24本…5000円

キャップを開けると、ふわりと香るみずみずしい桃の風味がスイートネス。桃の甘味とピリッとした生姜の後味をマッチさせました。甘さの中にさっぱりとしたキレがあり、スッキリとした飲み心地はどなたでも飲みやすく、やさしい味わいのジンジャーエールです。

小さなYAMAGATAマルシェ

濃厚干し芋ゼラート

5名様

6個セット…3100円

山形県庄内産のサツマイモ「紅はるか」をふんだんに使用した濃厚なゼラート。干し芋を細かく砕いているので、ギュッと凝縮された甘さとねっとり感が生きています。常温に置いて少し溶けた頃に食べると、より干し芋の濃厚さを感じられます。

西のおいしさこだわりマルシェ (JA西日本くみあい飼料株式会社)

四国三郎牛 ももすき焼き

3名様

500g…4690円

「四国三郎牛 ももすき焼き」は、赤身に豊潤な柔らかさであっさりとしているため、すき焼きの他、肉巻き・しゃぶしゃぶに最適です。徳島県の美しい自然に囲まれた牧場で、生産者が愛情を持って大切に育てた「四国三郎牛」をご賞味ください。

おきなわちゅら島

【本場の本物】沖縄県産「八島黒糖」

10名様

400g…1620円

沖縄の八つの島のサトウキビを100%使用した、香り豊かな黒糖セットです。伊平屋島、伊江島、粟国島、小浜島、与那国島、多良間島、西表島、波照間島のサトウキビ畑で育まれた島ごとのこだわりの味わいはお茶請けにピッタリ。砂糖の代りとしてもおすすめです。

おいらせ元気やさい(JAおいらせ)

青森県特産野菜セット

5名様

約2kg…3480円

新鮮でおいしい青森県の特産野菜を詰め合わせたセット。ながいも、にんにく、ごぼうは煮たり焼いたりさまざまな料理に使用でき、「レンジにんにく」はレンジ調理でおいしく召し上がれます。黒にんにくはそのまま食べるとドライフルーツのような甘さとコクが楽しめます。JAおいらせの特産品をぜひご賞味ください。

JA新おたる

3種セット「紫珠-sijyu-」ブルーベリーソース&ジャム(スプーン付き)

5名様

1セット…2700円(送料込み3700円)

北海道仁木町産のブルーベリーだけを原料に使用したソースとジャムです。加糖なしのソース、低糖度のソース、ジャムの、糖度の異なる3種類がセットになっています。アイスクリーム、ヨーグルト、パンなど、用途やお好みに合わせてお召し上がりください。

応募方法

件名に「JAタウン新春プレゼント」、本文に郵便番号、住所、氏名、年齢、所属JA、電話番号、ご希望の商品名、JA全農ウィークリーの感想をご記入の上、メールにてご応募ください。

締め切り

令和4年1月14日(金) 23時59分

※応募者多数の場合は抽選で当選者を決定いたします。また、当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。※いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。

応募先

JA全農ウィークリー [mail] zz_zk_zennohweekly@zennoh.or.jp

JA全農のインターネット
ショッピングモール

▶JAタウンはこちらから
<https://www.ja-town.com>
▶お問い合わせは ☑ shop@ja-town1.com